

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 イザヤ 60:20 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 126番 天にはさかえ
- *交読文 …… 57番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 125番 あら野のはてに
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:史執事 天声:小林 伝道師
- 賛美 …… 122番 神の御子は今宵しも
- メッセージ …… 素晴らしい喜びの知らせが直接与えられる人とは(ルカ 2:8-20)
- 御言葉を適用する祈り …… 一同
- 賛美 …… 123番 牧人ひつじを
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 …… 12月24日(火) 21時より横浜天声にてクリスマスイヴ礼拝を行います。各自それぞれが普段与えられている御言葉を宣言する時を持ちます。
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、 に伝える。きょうダビデの町に、 のために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。 は、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、 に与えられるしるしである」。するとたちまち、おびただしい天の軍勢が現れ、御使と一緒にになって神をさんびして言った、「いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう に平和があるように」。御使たちが彼らを離れて天に帰ったとき、 は「さあ、ベツレヘムへ行って、主がお知らせ下さったその出来事を見てこようではないか」と、互に語り合った。そして急いで行って…、飼葉おけに寝かしてある幼な子を捜しあてた…。

彼らに会った上で、この子について に告げ知らされた事を、人々に伝えた。 は、見聞きした事が何もかも に語られたとおりであったので、神をあがめ、またさんびしながら帰って行った。(ルカ 2:10-20)

キリストのご到来は、バプテスマのヨハネの時とは違い、ひそかに、人々にはあまり知られない形で来た。赤ちゃんとして来られたイエス様のご降誕の現場に居合わせ、そのイエス様に礼拝を捧げるといふ「幸い」にあずかれた人達が、羊飼いと、羊達であった。しかも彼らは特別に、御使いから直接、その知らせを受けた。そのような榮譽にあずかる事ができる性質とは、一体何だろう。

彼らは夜、人々が眠っている時でも目を覚まし、羊たちを見守っていた(ルカ 2:8)。彼らは羊と生活を共にし、野宿を続けているので不潔な出で立ちをしていた。それで人として数えられず、住民登録と呼ばれず、神殿での礼拝にも参加できなかった。なぜそんな彼らに、御使い達が現れたのか。

御使いは、主を恐れる人々に仕えるために遣わされる霊であり(ヘブル 1:14)、主を恐れる者の周りに陣を張って守ってくれる存在である(詩篇 34:7)。実は、彼らの性質が、御使いを引き寄せる性質だったのだ。

羊飼いの仕事は、羊達を守り養う事である。羊は弱く、身を守る術が無く、近視眼で、迷子になりやすい。自分で食べ物を見つける事が出来ないの、羊飼いは、彼らを牧草地や水のほどりへ導いて行く。彼らはどこでも汚物を垂れ流し、自分の毛につけたまま歩くので、臭い。強情で、時には怒って羊飼いに体当たりして来る。学習能力が弱いので、同じ失敗を何度も繰り返す。また悪い獣に狙われ易いので、羊を狙って来る悪い獣を、杖や鞭、石投いで追い払う。そんな面倒臭い仕事など、ほとんどの人はしたくないためか、その時代、人々は商売人になったり、王宮で仕えたり、より楽で華やかな職業へと就いて行った。

しかし羊飼いは、聖書ではとても重要な職業である。信仰の父祖達は、人生の大半を羊飼いとしてその生活を費やしていた。アベル、アブラハム、イサク、ヤコブ、モーセ、ダビデ、彼らは皆、そうして来たのだ。主もまたペテロに命じられた。わたしを愛するなら、わたしの羊を飼いなさい、と。(ヨハネ 21章) 羊は弱く、愚かかもしれない。しかし、主への捧げものになる事の出来る、数少ない動物である。羊は、ひずめが分かれており、反芻(咀嚼)するので、きよい動物とされている(レビ記 11章)。ひずめは、自身と世との間に境界を引いて一線を画するもので、主はその性質を、きよい性質の一つとされた。

また、反芻するとは、食物をよくハムハムと噛む事で、主はそれきよい性質の一つとされた。私達も、まことの食物である御言葉を、折を見ては取り出しハムハムするなら、きよい者として、主への捧げ物となる。

主のお生まれを告知された羊飼い達は、どのような性質だったか。彼らは「ダビデの町」で救い主がお生まれになったと聞くと、ミカ書の言葉を思い出し、「ベツレヘムに行く」と判断した程、①御言葉に精通していた。その点で彼らは、ヘロデ王や博士達より御言葉に精通していた。彼らは、羊飼いとして低く見られてはいても、②普段から御言葉を摂り入れ、主に示されたならすぐに行動する性質だったのだ(15-16節)。

彼らは博士達のような捧げ物は所持していなかったが、③「御声に聞き従い、すぐに行動する」という、雄羊の脂肪にも勝るいけにえを捧げたのだ。(1サムエル記 15:22)

そして彼らは、④主から伝えられた事を、そのまま正確に伝える性質だった。『この子について自分たちに告げ知らされた事を、人々に伝えた(ディアグノジー:正確に報告する、徹底的に知らせる)』(17節)

赤ちゃんイエス様と出会う事ができた彼らは、見聞きした事が全て、神のことばどおりだったため、大いに喜び、神をあがめ、賛美しながら帰って行った(20節)。彼らは⑤主を喜び、賛美する性質だったのだ。

以上のように、主が内密に、そしてきらびやかに、喜びの知らせを与えられる性質とは、夜の時代でも霊的に目を覚まし、弱くて愚かな羊たちを誠実に養っている羊飼いの性質であり、普段から御言葉を摂り入れ、御言葉に精通し、主に示されたらすぐそのまま行動し、主から伝えられた言葉を正確に伝え、そして、主のわざを喜び賛美する性質である。また、羊のように、世と自分とを分離し、御言葉を常にハムハムしているなら、いかに羊のようにドジで、愚かでも、主からは「きよい者」として、主への捧げものとなる。

私達もこの暗闇の時代、彼らのような性質を持って行動しているなら、主は密かに、そして大いなる輝きとともに、御旨を伝えて下さり、滅多に出会えるものではない特別な姿のイエス様へと導いてくださる。それは、王宮のような所で華やかに生活したい人にはあずかり知れない、限られた聖徒達へ密かに与えられる喜びである。誰にも味わう事の出来ない、素晴らしい喜びにあずかるこのクリスマスでありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 賛美 10:30 礼拝 11:00
食事/フェローシップ 12:30～
English Service 14:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:30～
金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://www.youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058 パスター: 林和也 川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201
TEL/FAX: 045-326-6211
Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>
email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube